

高校教育の現場から

Vo1.23

駒木 正清 Masakiyo Komaki



愛知県立豊橋東高等学校 校長
地理歴史科

- 1954年 愛知県生まれ
- 1977年 明治大学文学部史学地理学科日
本史学専攻卒業
愛知県立岡崎工業高等学校 教
諭
- 1986年 愛知県立豊橋西高等学校 教諭
- 1994年 愛知県総務部県史編さん室 主事
- 2001年 愛知県立安城南高等学校 教頭

2007年 愛知県立新城東高等学校 校長
2013年 現職

【主な著書】

- 『東三河の歴史 上・下巻』(1996年 郷土
出版社 共著)
- 『定本 豊川』(2002年 郷土出版社 共著)
- 『愛知県の歴史散歩 下 三河』(2005年
山川出版社 共著)

「生徒が可愛くて仕方ありません」

私が勤務する愛知県立豊橋東高等学校は、創立111年目を迎え、「自主・協調 知性・教養 誠実・剛健」の校訓の下、「文武両道」を謳い、50余りの中学校から学年、学校をリードしていた人材が集まり、お互いが切磋琢磨し高めあう雰囲気があります。伝統が醸し出す気品というか、落ち着いた中にも活気がある校風です。

進学校の指標となる国立立大学への進学実績で言えば、学年の半数近くの130名から150名ほどの生徒が国立立大学に進み、浪人が少ないのも特徴です。この春、明治大学には18名の合格者を出しました。また、部活動、学校行事も盛んで、バレーボール部女子の全国制覇10回を筆頭にソフトテニス、弓道、体操部がかつて全国制覇を果たしました。文化面では、中庭で定期的な弦楽部と吹奏楽部のコンサートが催され、校内のそこかしこに美術部やOBの絵画も飾られ、文化の香りを放っています。校歌も混声四部合唱で歌われ行事を盛り立てます。

学校行事では、秋に3日間にわたって繰り広げられる「ひがし祭」の最後を飾る男子のファイヤー・ストームが受け継がれています。上半身裸で走って歌って踊るバンカラな伝統行事で、終演には、同窓会の協力で打ち上げ花火が夜空を彩ります。昔は女人禁制で女生徒は見られませんが、現在は一般にも公開し、近隣の方も楽しみにしています。

地域のリーダーを育てることも本校の大事な役目ですが、その1つである教員では、高校で150名ほど、小中では400名を超える本学卒業生がこの地域の教育に携わっています。私も41年前に本校を卒業し、縁あって校長として赴任しました。

私は、生徒が大会や発表会で活躍する姿を応援するのが大好きで、またその姿を見届けるのが校長の大事な役目だと思っています。昨年は土日を65日使い、延べ134回、生徒の応援に行くことができました。ありがたいことに東高生の活躍と感動的な場面に遭遇することが

FROM THE HIGH SCHOOL EDUCATION



昼食時に行われる弦楽部の中庭コンサート



東高伝統のファイヤー・ストーム。満月の下で「デカンショ節」を歌う。
「校長、校長と威張るな校長(よい、よい)。
校長、生徒のなれの果て(よーい、よーいデッカショ)」



文化祭で同窓会長、PTA会長、生徒会長と歌う「リンダ・リンダ」

多々あります。

例えばサッカーの試合で、入部したての1年生が雨の中を傘もささずに覚えたての生徒会歌を歌い続け先輩を鼓舞する姿。体育館で女子チームの応援を受けながら惜敗した男子ハンドボール部員が、涙混じりに女子チームを応援する姿。吹奏楽部の定期演奏会の最終曲で引退する3年生だけでなく、下級生も泣きながら演奏をしている姿。こんな場面に遭遇できる幸せを毎回かみしめています。そして、そんな素晴らしい後輩のことを同窓会の場や、集会や卒業式の挨拶で紹介して

きることは校長冥利に尽きることで。

昨年の文化祭のフィナーレでは、弦楽部をバックに生徒会長と私でゆずの「栄光の架橋」をデュエットし、42年前にフォークソングを歌ったのと同じステージに立てたことは感慨無量でした。今年は、PTA会長がドラム、同窓会長がベースギター、私がサイドギター、リードギターに明治大学卒業の森谷昌弘英語科教諭を加えてバンドを組み、ブルーハーツの「リンダ・リンダ」を演奏し、生徒会長、副会長も加わって盛り上がりました。

翌日の体育大会では、女子の800mに参加しましたが、2年生の女子は東海大会3位、2分17秒の記録を持っており、200mトラックで周回遅れにならないか心配でしたが、生徒の声援の後押しで何とか抜かれました。閉会式の講評では、ある生徒たちの思慮の足りない行動に3年間で初めて生徒を叱りました。でも、最後は「東最高!」と叫んでしまいました。生徒が大好きで、生徒が可愛くて仕方ありません。これからもどんなドラマが、出会いがあるか楽しみです。